

日高港塩屋地区(和歌山県御坊市) みなと振興計画概要図 「日高港みなと振興事業」

計画の概要

日高港は、平成16年4月に供用開始された後、「にっぽん丸」や「ふじ丸」など、従来ではこの地域に入港することのなかった日本を代表する大型クルーズ客船が入港している。そのような中で、港を訪れる人々や地域住民に安らぎと潤いのある快適な空間を提供するために基幹事業として整備する港湾緑地内に海水を流入させることによる周辺の磯部を再現した多種類の生物の生息・飼育・観察が可能となる親水公園を整備し、快適で魅力あるみなと空間を創造する。この整備と併せて、地域住民をはじめとする市民参加型のイベントの実施やみなとを活かした乗船体験、内陸部にある農業体験施設等との連携、さらには、本市と関係の深い都市との交流の場としてもみなとの活用を行う。

また、港湾緑地に隣接して関連施設として整備が行われている日高港新エネルギーパークの持つ学習機能との連携などにより、日高港を広く発信しPRするものである。

目標	基幹事業として整備する港湾緑地に親水機能を持たせ快適で魅力のあるみなと空間を創造し、周辺の地域資源との連携や活用による交流・体験・学習の拠点として賑わいのあるみなとを形成し、日高港をPRする。 目標1： 基幹事業である港湾緑地の整備により、市民をはじめ日高港を訪れる人々に安らぎと潤いのある快適な空間を提供し、魅力のあるみなとづくりを推進する。 目標2： 港湾緑地に周辺の磯部をイメージした親水公園を整備し、生物との触れ合いや隣接する日高港新エネルギーパーク等、周辺地域の社会教育施設と連携することで学習の拠点化を目指す。 目標3： みなとを活かした乗船体験や内陸部にある農業等の様々な体験施設と一体的な取り組みを行うことにより、港湾緑地を核とした体験、交流の拠点化を図る。 目標4： 日高港を中心とした観光パンフレット等を作成し広くPRすることで、観光の拠点化を促進する。	代表的な指標	体験学習等への来訪者数 (人/年)	2,000 (18年度) → 10,000 (21年度)
	利用者の満足度 (%)		- (18年度) → 50 (21年度)	

地域資源等との連携



収穫体験



社会学

■日高港
内陸部にある各種ソフト施策との連携によるみなと振興

